

指定管理者事業報告書

2007年6月30日

藤沢市長 殿

所在地 藤沢市朝日町10番地の8

指定管理者名称 財団法人藤沢市青少年協会

代表者の氏名 理事長 南 英毅 印

次のとおり報告します。

管理業務の実施期間	2006年4月1日から2007年3月31日まで
管理業務を行つた公の施設の名称	藤沢市少年の森
管理業務の実施状況及び利用状況	別添1のとおり
使用料又は利用に係る料金の収入実績	なし
管理に係る経費の収支状況	別添2のとおり
(事務処理欄)	

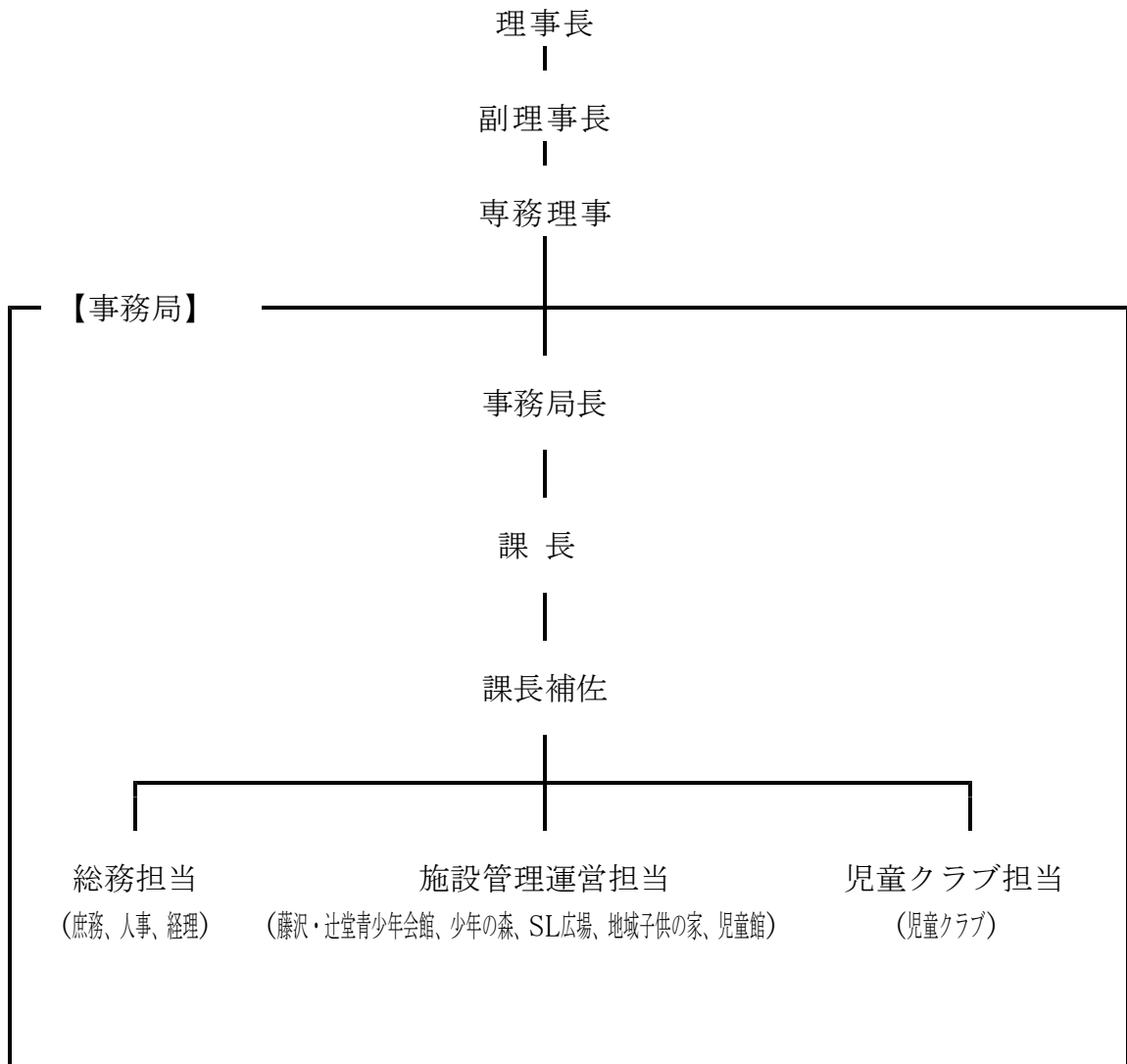
(別添 1)

藤沢市少年の森管理業務の実施状況及び
利用状況報告書 (平成 18 年度)

指定管理者 財団法人藤沢市青少年協会

組織図

1 財団法人藤沢市青少年協会全体組織図



2 藤沢市少年の森職員内訳

常勤職員	1名
常勤嘱託	2名
非常勤職員	0名
臨時職員	22名
合計	25名

藤沢市少年の森 施設概要

1 設置目的

1980年（昭和55年）5月5日に国際児童年記念事業として開設された青少年野外活動施設で、緑があふれ、野鳥や昆虫が息づく自然環境の中で、青少年が自然に親しみ、自然体験活動や集団生活を通して、青少年の健全育成を図ることを目的としています。

キャンプ場やアスレチックコース、宿泊研修施設等も設置され、家族や友だちとのふれあいの場、自然体験活動の拠点として多くの団体や学校、市民の方々に利用されています。

2 敷地面積

93,642.43㎡

3 開設年月日

1980年（昭和55年）5月5日

4 場 所

藤沢市打戻2345番地

5 指定管理者

財団法人藤沢市青少年協会（事務局：藤沢市朝日町10-8）

6 主な設備

- (1) 管理事務所（鉄筋コンクリート造2階建）
 - 1階 事務室、談話室、倉庫、身障者用トイレ等
 - 2階 緊急避難室（和室）等
- (2) キャンプ場
 - ① キャンプ利用（7月から9月までの期間のみ利用可能）
常設テント26区画（6人用・8人用テント）
 - ② デイキャンプ利用（通年利用可能）
 - ③ キャンプ、デイキャンプともに最大200人まで利用可能
- (3) 宿泊研修施設「かわせみハウス」（平成17年4月1日開設）
定員40人の宿泊研修施設
 - 1階 研修ホール、多目的室（宿泊室）、シャワー室等
 - 2階 宿泊室3室等
- (4) 野外炊事場
キャンプ場に併設（2カ所）
- (5) 営火場
キャンプファイヤー等に利用
- (6) フィールドアスレチック
丸太やロープ等で作られた20ポイントを設置
スコアカードを使用して、自分の消費カロリーを計算が可能

- (7) 木製遊具
アスレチック機能を持った丸太やロープ等で作られた大小10基の遊具
- (8) 自然散策路
自然観察ができる森の中の散策路
- (9) 水遊び広場（じゃぶじゃぶ池）
水遊びができる水位の浅い池
- (10) 多目的運動場
野球やソフトボール等の利用できる「クローバー広場」、ゲートボールやグラウンドゴルフ、各種レクリエーション活動等の利用できる「さわやか広場」
- (11) その他
芝生広場や自由広場、緑の泉、卓球台等

7 開園時間

午前9時から午後4時30分まで（多目的運動場は午前6時から午後6時まで）

8 休園日

毎週月曜日（7月から9月までのキャンプ利用期間をのぞく）
国民の祝日の翌日、12月28日から1月4日まで

9 利用できる方

- (1) 18歳以下の方とその引率者、指導者
- (2) 18歳以下の方で構成される団体とその指導者
- (3) 藤沢市内の青少年育成団体
- (4) 国および地方公共団体
- (5) その他教育委員会が認めるもの

※キャンプやデイキャンプ、宿泊研修施設の利用は、保護者や成人指導者の引率が
必要

10 使用料

宿泊研修施設をのぞく、すべての設備と貸出物品は無料
ただし、キャンプ・宿泊研修施設利用の際の毛布やシーツ代、また野外炊事やキャンプファイヤーの薪代は有料

11 主な主催事業

- (1) どんごまつり 4月末から5月初めの3日間
- (2) 森っ子あつまれ 年7回
- (3) 親子デイキャンプ 年7回
- (4) 親子キャンプ 7月から9月までの期間で全3回
- (5) 子どもキャンプ 年2回（8月、3月）
- (6) 中学生キャンプ 年1回（8月）
- (7) その他
夕やけコンサート、親子ウォークラリーといも掘り大会、秋のレクリエーション大会、学習水田（稲作体験学習）等

藤沢市少年の森 キャンプ・デイキャンプ利用について

1 利用期間

- (1) キャンプ 7月から9月まで
- (2) デイキャンプ 通年

2 利用時間

- (1) キャンプ 利用初日午後1時30分から利用最終日午前10時まで
 - (2) デイキャンプ 午前9時から午後4時30分まで
- ※開園時間内であれば、キャンプ施設以外での活動は可能

3 利用できる方

18歳以下の方が10人以上の団体やグループ
ただし、保護者または指導者の引率が必要

4 利用料

無料（炊事用薪やキャンプファイヤー用薪、毛布は有料）

5 利用可能人数

キャンプ・デイキャンプともに最大200人まで利用可能

6 貸出物品

テント（キャンプのみ）、毛布（キャンプのみ）、炊事用具、食器

7 利用申し込み方法

- (1) 電話または来園にて申し込み ※先着順
- (2) 利用日の7日前までに（デイキャンプは3日前までに）申請書を提出

8 利用申し込み期間

- (1) キャンプ
 - ①藤沢市内の方 5月 1日から利用日の7日前まで
 - ②藤沢市外の方 5月15日から利用日の7日前まで
- (2) デイキャンプ
 - ①7月～9月の利用 6月1日から利用日の3日前まで
 - ②その他の期間の利用 利用日の3ヶ月前から3日前まで

藤沢市少年の森 多目的運動場の利用について

1 利用できる方

- (1) 成人が引率する5人以上の団体
- (2) その他教育委員会が認めた団体

2 利用広場・利用できる運動種目

- (1) クローバー広場
軟式野球やソフトボール、集団でおこなうゲーム等
- (2) さわやか広場
ゲートボールやグラウンドゴルフ、集団でおこなうゲーム等

3 利用時間

午前6時から午後6時まで（休園日や少年の森主催事業等で使用する日を除く）

4 利用時間区分

以下のとおり、1区分（1コマ）2時間単位で利用

- ① 6：00～8：00 ② 8：00～10：00 ③ 10：00～12：00
- ④ 12：00～14：00 ⑤ 14：00～16：00 ⑥ 16：00～18：00

5 利用申し込み方法

少年の森にて申請書を記入し、提出 ※電話での申し込み不可

- (1) 利用月の2ヶ月前の第1日曜日午前9時から利用申し込みを受付
 - ・午前9時の時点で、利用希望団体が多数の場合には、抽選
 - ・この日の申し込みは、1団体3区分（3コマ）まで
- (2) 利用したい日が当月の場合には、区分（コマ）制限なく申し込み可能
- (3) 利用したい日の前日まで申し込み可能

6 利用料

無料

平成18年度 藤沢市少年の森事業実施報告

はじめに

平成17年度に藤沢市から当協会が指定管理者として当施設の運営を受託し、「藤沢市青少年対策の基本方針」の実現を目標とした年間事業計画に基づき2年間取り組んだ。

具体的な成果としては、藤沢市に唯一の宿泊のできる野外研修施設として、利用者の拡大ならびに自然体験活動を通じた青少年の健全育成に努めた。

これらの実施結果は(別紙)の通りであるが、各年度の経営方針に基づき実施した事業展開は、以下の通りである。

1 アンケート調査の結果を運営に反映させ、満足度の上昇を目指す。

事業参加者ならびにキャンプ・デイキャンプ、宿泊研修施設利用者、さらに一般来園者(個人・家族・小グループ)へのアンケートをおこない、事業企画運営や施設管理運営の反映した。特に要望の多い、トイレ整備や乳幼児のおむつ替え・授乳室の設置については、藤沢市がおこなうまちづくり交付金事業の一環の藤沢市少年の森整備事業において、その要望を反映し、平成19年度に整備工事を行うこととなった。

また、夜間の通路照明や園内通路整備、駐車場増設等といった施設整備面の要望や個人や家族単位でのキャンプ・デイキャンプ利用の要望もあり、今後の施設整備計画に反映するとともに、利用者拡大に向けた取り組みを検討していく。

2 前年度実績を分析し、臨時職員の人件費ならびに諸経費の縮減。

平成17年度事業ならびに施設管理運営等を検証、分析し、平成18年度においては、以下の通り、臨時職員雇入賃金をはじめとする諸経費の縮減に努めた。

科 目	H17決算①	H18決算②	②-①	増減理由
臨時雇賃金	5,986,680	5,084,604	-902,076	一日の従事職員数や事業従事職員数の見直し
通信運搬費	327,008	370,493	43,485	ホームページ作成・事務移管による通信料の増
消耗什器備品費	99,750	0	-99,750	什器備品購入なし
消耗品費	1,402,095	1,026,312	-375,783	維持管理消耗品・事業消耗品購入の縮減
修繕費	602,111	499,274	-102,837	職員で可能な修繕は職員で行い、経費縮減
印刷製本費	35,063	348,199	313,136	キャンプ・広場利用申請書やパンフレットの作成
燃料費	113,378	129,779	16,401	草刈・芝刈機用燃料の増(職員による作業)
光熱水料費	1,152,293	1,211,486	-59,193	管理棟トイレ水道管の水漏れによる
食糧費	19,000	17,000	-2,000	事業協力者賄いの減
賃借料	416,181	437,904	21,723	コピー使用料の増
保険料	547,620	547,620	0	保険内容の変更なし
諸謝金	210,000	200,000	-10,000	事業協力謝礼の減額
手数料	299,450	283,700	-15,750	簡易トイレ汲取り回数削減
委託費	4,153,619	4,169,927	16,308	園内管理業務委託の入札による増

3 事業参加者負担金の適正料金の適用。

平成17年度に、これまでほとんどの事業が無料であったのを、受益者負担等の観点から事業内容や諸経費、市民ニーズ等を考慮した参加者負担金の設定を検討した。

検討結果を踏まえ、平成18年度から以下の事業において、参加者から事業参加者負担金(参加費)として受領することとした。

事業名	参加者負担金	備考
中学生キャンプ	2,000円	食事代・教材費等
子どもキャンプ	1,000円	食事代 ※年2回
親子デイキャンプ	1人 100円	材料費 ※1・4・6回のみ
親子ワークリーといも掘り大会	1家族 500円	材料費
森っ子あつまれ!	100円	材料費
稲作体験学習	1人 500円	材料費

平成19年度以降も、事業内容や事業経費等を考慮し、適正な事業参加者負担金を設定し、事業運営をしていく。

4 販売活動等収益事業の検討

利用者の利便性、収益事業の展開を目的に、平成17年度から一般来園者やキャンプ、宿泊研修施設利用者を対象とした物品販売ならびに業者からのキャンプ、宿泊研修施設利用者向けの食材等受注配達の導入について検討した。

平成18年度において、利用者の多い夏季に試験的に、冷菓や飲み物、キャンプ利用者向け物品(蚊取り線香や虫よけスプレー、割箸、調味料等)を業者に販売してもらうことで準備を進めた。

しかし、施設利用者数に変動があることや利用者数が天候に大きく左右されることで、商品の売上も変動が多く、大きな収益が見込めない可能性があること等の理由から、販売を引受ける業者の選定に難航し、実施することができなかった。

したがって、平成19年度以降は、販売活動の方法(施設管理者による販売または業者による販売)施設運営や販売期間、利用者の形態を再度検討し、販売活動の是非や可否の結論を出すこととする。

5 職員研修

藤沢市では唯一の野外活動施設であるが、神奈川県内には多くの野外活動施設や青少年宿泊施設がある。これらの施設と連携を図り、互いの長所を学びあうために「神奈川県宿泊施設連絡協議会」に加盟し、情報交換会及び研修に職員を派遣した。

また、職員個人の資質向上のために、県立青少年センターや県立清川青少年の家等で実施している青少年施設職員向けの研修や野外活動の研修、当協会独自で実施した接遇研修に職員を派遣し、これを全体に報告することにより藤沢市少年の森職員としてのスキルアップを積極的に図った。

6 藤沢市環境方針への取り組み

別表2の通り

(別紙) 年間事業報告書

藤沢市少年の森の管理運営の受託

1 施設利用状況

利用者総数 60,352人(平成17年度65,720人)

デイキャンプ	キャンプ	一般利用	多目的広場	主催事業	宿泊研修施設	合計
2,937人	785人	11,549人	33,838人	9,681人	1,562人	60,352人

2 事業の実施状況

日 時	事業名	日 時	事業名
4月9日(日)13:30~15:30	森っ子あつまれ!①	9月24日(日)13:30~15:30	森っ子あつまれ!③
4月29日(土)9:00~16:00	どろんこまつり①	10月1日(日)10:00~15:00	森の寺子屋④
4月30日(日)9:30~16:00	どろんこまつり②	10月7日(土)9:30~11:30	稲作体験学習③(稲刈)
5月3日(祝)9:30~15:30	どろんこまつり③	10月8日(日)10:00~15:00	親子デイキャンプ④
5月5日(祝)10:00~15:00	子どもフェスティバル	10月28日(土)9:30~11:30	稲作体験学習④(脱穀)
5月28日(日)10:00~15:00	親子デイキャンプ①	11月3日(祝)10:00~15:00	森の寺子屋⑤
6月4日(日)10:00~12:00	森の寺子屋①	11月5日(日)9:30~16:00	秋のレクリエーション大会
6月10日(土)9:00~11:30	稲作体験学習①(田植え)	11月12日(日)9:00~12:00	親子ウォークラリーといも掘り大会
6月18日(日)13:30~15:30	森っ子あつまれ!②	12月2日(土)9:30~11:30	稲作体験学習⑤(もちつき)
6月25日(日)10:00~15:00	親子デイキャンプ②	12月10日(日)10:00~15:00	森の寺子屋⑥
7月2日(日)10:00~15:00	森の寺子屋②	12月23日(日)10:00~15:00	親子デイキャンプ⑤
7月15日(土)9:30~11:30	稲作体験学習②(草取り)	12月27日(水)13:30~15:30	森っ子あつまれ!④
7月16日(日)10:00~15:00	親子デイキャンプ③	1月7日(日)10:00~12:00	森の寺子屋⑦
7月29日(土)18:30~19:30	夕やけコンサート	1月14日(日)13:30~15:30	森っ子あつまれ!⑤
7月29日(土)~30日(日)	親子キャンプ①	2月3日(土)~4日(日)	森の寺子屋⑧
8月5日(土)~6日(日)	親子キャンプ①	2月11日(日)13:30~15:30	森っ子あつまれ!⑥
8月12日(土)~13日(日)	中学生キャンプ②	3月4日(日)10:00~15:00	森の寺子屋⑨
8月26日(土)~27日(日)	子どもキャンプ①	3月11日(日)10:00~15:00	親子デイキャンプ⑥
9月2日(土)~3日(日)	森の寺子屋③	3月24日(土)~25日(日)	子どもキャンプ②
9月9日(土)~10日(日)	親子キャンプ③		

(1) 親子デイキャンプ

時期 年6回(①5月28日②6月25日③7月16日④10月8日⑤12月23日⑥3月11日)

参加者 83家族 303人

内容 家族単位でのキャンプ利用機会(日帰り)を設け、家族ごとに野外炊事を行い、家族のふれあいを深めるとともにや活動に取り組みながら、参加家族どうしの交流を図った。

①野外炊事と豆腐づくり

②野外炊事とフォトスタンドづくり

③野外炊事と灯ろうづくり

④森の芋煮会

⑤野外炊事とクリスマス会

⑥手打ちうどんづくり

参加費 1人100円(①・④・⑥のみ)

※野外炊事用の食材は参加者持参

(2) 親子キャンプ

時 期 年 3 回 (①7月29日～30日②8月5日～6日③9月9日～10日) 1 泊 2 日
参加者 合計 57 家族 213 人
内 容 家族単位でのキャンプ利用機会を設け、キャンプ活動の普及
や家族のふれあい、参加家族どうしの交流を図った。
①フォルクローレコンサート・キャンプファイヤー他
②灯ろうづくり・キャンプファイヤー他
③お月見だんごづくり・キャンプファイヤー他
参加費 無料
※野外炊事用の食材は参加者持参

(3) 中学生キャンプ

時 期 2006年8月12日(土)～13日(日) 1 泊 2 日
参加者 中学生18人
内 容 自然体験活動を通して、普段の生活にはない自然とのふれあ
いから、自然を“体感”する機会を与え、また参加者どうし
の交流を図り、仲間とのつながりの大切さに気づくような活
動を行った。
仲間づくりゲーム、野外炊事、アウトドアゲーム、夜の語ら
い等
参加費 1,000円

(4) 子どもキャンプ

時 期 ①2006年8月26日(土)～27日(日) 1 泊 2 日
キャンプ場テント泊
②2006年3月24日(土)～25日(日) 1 泊 2 日
宿泊研修施設泊
参加者 ①小学生71人、②小学生32人
内 容 子どもだけのキャンプを通し、野外活動の楽しさを知ると
同時に自立と協調性を高める機会の提供をした。
レクリエーションゲーム、野外炊事、キャンプファイヤー等
参加費 1,000円

(5) 森っ子あつまれ!

時 期 年 6 回
(①4月9日②6月18日③9月24日④12月27日⑤1月14日⑥2月11日)
参加者 5歳以上から小学生まで 合計390人
内 容 少年の森の施設や自然環境を活かし、季節に合わせた活動や
対象にあった様々な活動や外遊び、友だちと遊ぶことの楽し
さを感じられる活動等を企画、運営した。
①ゲーム大会・森のカブトムシを育てる
②少年の森探検・段ボールそり遊び
③木片や小枝等を利用したクラフト
④鏡もちづくり
⑤凧づくり
⑥巨大バームクーヘンづくり
参加費 無料(④のみ1人100円)

(6) どろんこまつり

時 期 2006年4月29日(祝)、5月1日(祝)・3日(祝)
参加者 3日間合計3,034人
内 容 クラフト、新聞紙でご飯炊き、フィールドビンゴ、泥の田ん
ぼで宝物探し等、少年の森の自然環境や施設を活用した活動
を行い、少年の森の利用者拡大を図った。
参加費 無料

(7) 夕やけコンサート

時 期 2006年7月29日(土)

参加者 241人

内 容 夕暮れの静かな森の中で、フォルクローレ(南米民族音楽)の演奏会を開催した。森の夜の静寂さとフォルクローレの音色が調和した時間となった。

参加費 無料

協 力 ラス・パロミータス

(8) 秋のレクリエーション大会

時 期 2006年11月5日(日)

参加者 約1,200人

内 容 少年の森の利用者拡大を図るため、施設や自然環境を活用した家族や友だちと楽しめる活動を企画、運営した。

・各種ゲーム(のこぎり早引き選手権・吹き矢・輪投げ等)

・模擬店

・フリーマーケット

参加費 無料

(9) 親子ウォークラリーといも掘り大会

時 期 2006年11月12日(日)

参加者 84家族 320人

内 容 家族のふれあいを目的に、少年の森から家族ごとにウォークラリーを行い、ゴールの畑でいも掘りを行った。

参加費 1家族 500円

協 力 亀井 利貞 氏(藤沢市菖蒲沢在住)

(10) 稲作体験学習

時 期 年5回(①6月10日②7月15日③10月14日④10月21日⑤12月2日)

参加者 藤沢市内在住の小学校4年生以上とその家族

23家族 60人

内 容 ①田植え②草取③稲刈④脱穀・農業見学⑤餅つき(収穫祭)施設内の学習水田を利用した稲作体験を通して、農業の理解を深めるとともに、農耕に根ざした郷土文化や生活習慣等もあわせて学習する機会とした。

参加費 1人 500円

協 力 さがみ農業協同組合・JAさがみ藤沢市農業経営士協議会

(11) 森の寺子屋

時 期 年9回(①6月4日②7月2日③9月2日~3日④10月1日⑤11月3日

⑥12月10日⑦1月7日⑧2月3日~4日⑨3月4日)

※これ以外にも企画準備の会議が数日有り

参加者 少年の森の近隣小学校(秋葉台・御所見・中里小学校)の4年生から6年生まで 21人 ※原則通年参加

内 容 少年の森を近隣小学生の居場所、遊び拠点とすることを目的に、近隣小学校の参加者が中心となって様々な活動を企画、準備、運営し、身近な遊び場形成と学校、学年を超えた仲間づくりを図った。

①種まき・紙すき②アジトづくり(少年の森探検)③キャンプ

④竹でご飯炊き⑤お店やさんごっこ(秋のレクリエーション大会参加)

⑥クリスマス会⑦七草粥をつくろう⑧段ボールそり遊び

⑨手づくりピザに挑戦

参加費 無料(活動により実費負担有り)

平成18年度藤沢市少年の森 月別利用状況

区分	人数	団体数	内 訳												
			デイキャンプ		キャンプ		宿泊研修施設		一般利用団体		多目的運動場		一般来園者	主催事業	
			人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	人数	回数
4	4,279	89	529	5	—	—	75	3	501	6	1,822	72	—	1,352	3
5	9,809	113	165	7	—	—	83	5	1,806	16	2,556	82	—	5,199	3
6	4,143	133	105	4	—	—	43	2	165	3	3,192	120	465	173	4
7	6,995	173	332	8	604	17	264	9	130	3	4,917	131	342	406	5
8	5,280	176	534	12	142	4	562	21	256	7	3,189	129	446	151	3
9	7,274	137	269	10	39	2	68	4	476	6	4,469	112	1,809	144	3
10	5,564	134	246	7	—	—	45	2	870	11	3,576	110	619	208	4
11	5,752	126	222	7	—	—	130	7	798	14	2,566	95	504	1,532	3
12	3,206	89	75	2	—	—	10	1	394	2	2,378	80	118	231	4
1	2,745	90	181	4	—	—	28	2	394	6	1,761	76	330	51	2
2	2,491	80	69	2	—	—	20	2	217	3	1,704	71	350	131	2
3	2,814	95	210	5	—	—	234	9	295	7	1,708	71	264	103	3
計	60,352	1,435	2,937	73	785	23	1,562	67	6,302	84	33,838	1,149	5,247	9,681	39

※5月の主催事業には、第12回藤沢市子どもフェスティバル来場者3,400人を含む。

※6月から一般来園者数(個人・家族・小グループ等)を集計しています。(集計方法:一般来園者に受付ノートへの人数の記入を依頼。)

※キャンプ利用期間:7~9月

別表2

藤沢市少年の森

取り組み項目	項目内容	最終(平成19年) 到達目標 (平成15年度比)	基準年度数値 (平成15年度)	平成18年度	平成18年度
				目標率 (想定使用量等)	平成15年度対比率 実績数値
電気使用量の削減	電気使用量 単位:kwh	3%減	35,219	▲1%	22%
				34,518	42,999
水使用量の削減	水使用量 単位:m ³	3%減	952	▲1%	52%
				933	1,449
公用車燃料の使用量削減	ガソリン 単位:リットル	3%減	173	▲1%	62%
				170	280
その他燃料の使用量の削減	プロパンガス 単位:m ³	3%減	48	▲1%	▲8%
	灯油 単位:リットル	3%減	678	▲1%	5%
廃棄物の減量化	廃棄物 単位:kg	3%減	647	▲1%	12%
				634	723

(別添 2)

管理に係る経費の収支状況報告
(平成 1 8 年度)

指定管理者 財団法人藤沢市青少年協会

「藤沢市少年の森」 平成18年度収支決算書

収入の部

科 目	予算金額	決算金額	増 減
市受託収入	27,308,000	27,308,000	0
負担金収入	180,000	209,500	△ 29,500
収入合計	27,488,000	27,517,500	△ 29,500

支出の部

科 目	予算金額	決算金額	増 減
給料手当	9,029,000	9,271,794	△ 242,794
臨時雇賃金	5,968,000	5,084,604	883,396
退職金	0		0
福利厚生費	1,145,000	1,061,717	83,283
通信運搬費	376,000	370,493	5,507
消耗什器備品費			0
消耗品費	1,054,000	1,026,312	27,688
修繕費	475,000	499,274	△ 24,274
印刷製本費	120,000	348,199	△ 228,199
燃料費	112,000	129,779	△ 17,779
光熱水料費	1,134,000	1,211,486	△ 77,486
食糧費	20,000	17,000	3,000
賃借料	429,000	437,904	△ 8,904
保険料	548,000	547,620	380
諸謝金	200,000	200,000	0
手数料	289,000	283,700	5,300
租税公課	887,000	818,332	68,668
委託費	4,191,000	4,169,927	21,073
諸経費	1,511,000	2,039,359	△ 528,359
計	27,488,000	27,517,500	△ 29,500